

北相木 議会だより

2022年6月 発行 北相木村議会

発行/北相木村議会 〒384-1201 長野県南佐久郡北相木村2744 TEL 0267-77-2111
発行人/高見澤一好 編集/議会編集委員会 印刷/臼田活版株式会社

No. 25

目次

- 令和3年 定例会 一般質問 2~4
- 令和4年 臨時会 5
- 令和4年 定例会 一般質問 6~7
- 村民の声 8



見頃をむかえた『そうとん花』

議会定例会報告

令和3年第4回定例会 12月6日に招集された議会は、12月16日までの11日間で開催されました。下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号	北相木村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	北相木村福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	北相木村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	北相木村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	北相木村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	令和3年度北相木村一般会計補正予算（第3号）について
議案第7号	令和3年度北相木村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第8号	令和3年度北相木村診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案第9号	令和3年度北相木村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第3号）について
各常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の所管事務の調査の件について	

一般質問

令和三年十二月十六日

議会定例会

山口 吉彦 議員



遊休農地の活用による地域農産物の創出について

質問

村内には120ha、昔流に言うところ120町歩の遊休農地があるようですが、この遊休農地の活用による地域農産物の創出と、そのために必要な新しい農作物の試験栽培及び加工品の試作等についての計画があるかお聞きします。

移住定住問題を考えるとき、若者の働く場所が地方にはないという問題があり、農山村に雇用の場を作ることが重要ですが、農林業を

地域産業の柱として位置づけ、遊休農地や里山を活用して地域農産物を作り出すことも必要とされ、村においても住宅問題と同時に取り組むべき大きな課題であると思います。地域づくりには住民が食べていけるだけの産業の創出が必要ですが、行政が主体となって遊休農地等を有効に使いながら、新しい農作物の試験栽培に着手すべきではないでしょうか。

村長

私の公約として移住定住事業は最重要課題でありますが、働き場所については具体的な施策がないのが現状であります。農山村に雇用の場を作り、農林業を地域産業の柱として位置づけ、遊休農地や里山を活用して地域農産物を創出するという考えには賛成です。

11月上旬に村の花き振興協議会と意見交換を行いました。したが、その中で新規就農者の方の声を聞き、会議終了後担当者によるこのまま花卉の新規就農者を受け入れるのは、場合によってはその

人の人生にとって大変な結果を生むことになりかねないので、危険ではないかと進言したことがあるのは事実です。

しかし北相木村の主産業はやはり農林業です。言われるとおり、農林業に携わりたいと考えている皆さんには村としては農協、農業農村支援センター等々と連携して、しっかり支援体制を築き、村の産業を守っていきたいと考えております。ルバーブ、カシスそしてハスカップ他にもブルーベリーやブラックベリーを栽培している方もいるので、ジヤム屋を何人かで始めれば雇用と収益につながるのではないかと考えております。また地球温暖化に伴い、果樹類にも注目しております。村民の皆さまもそれぞれ独自に試験栽培をされておられると思われまので、情報交換ができればよいのかなと考えております。それと今注目を集めているのは、食パン用の小麦だと思えます。現在日本人が必要また欲

しているが、まだまだ足りない農作物を栽培することが重要かと考えております。新規作物を栽培するのはよいのですが、それと同時に販売先や加工も考えていかなければならないと考えておりますので、皆さまのご意見とお知恵をいただけたらと思っております。農業委員会を中心として新しい農作物の試験栽培は必要だと感じております。

再質問

講談社の現代新書の中に未来の地図帳という本があります。そこに人口減少対策に取り組んでいる姿勢を示すことが重要だと言わんばかりに、他の自治体から定住者あるいは移住者を引っ張り込むことを目的とした無鉄砲な子育て支援や過度な家賃補助や住宅政策を展開するケースが全国各地に見受けられるということ、この本の中では指摘をしておりますので、この村でもそうならなければいいなと感じております。定住人口も綱引き合戦は根本的な解決策にはならな

いから早急に止めるべきだと、そして過度の子育て支援策や定住支援策に充てる予算をほかのところで使うべきではないのかということとを言っております。結果として将来的に見たときには、住宅政策ではなくて、今私が聞いたり、答弁をいただいたような産業振興であったり、加工品の開発に向けていったほうが、地域の存続の可能性は高くなるのではないかとということですので、ご紹介を申し上げて一般質問を終わります。

木次 茂 議員



空き家対策について 質問

空き家対策について質問です。空き家を所有されている方が、自己資金を使わずに村に取り壊してもらい、土地代のみで宅地を村に譲

るといった施策、大いに期待するところですが、この事業に賛同された空き家所有者の方、また修理可能な空き家を所有されていて、申し出られた方はどのくらいの数になりましたか。来年度の事業実施に向けて、今後どのような進め方になりますか。

村長

村長としての公約の一番大きなものがこの空き家対策に伴う移住者の増加による村の活性化です。とにかく村を存続させていくには、移住者を呼び込み、人口の減少を最小限に抑え、人口増加を狙っています。

空き家の軒数は143軒です。その中で、宅地の価格で譲っていただき建物は村で取り壊していただきたい方が17名、建物を評価し土地と建物を村に売り、村が改修して村営住宅として使用できる物件が3軒です。今後の事業の進め方としては、改修可能な空き家は役場からの情報をもとに直接所有者と相談し、改修については購入者に行なっ

いただくことを想定しております。購入希望者がいない改修可能な空き家につきましては、村で購入し、改修まで行なつて村営住宅としての活用を考えております。取り壊しをする空き家につきましても、まずは村民で宅地を求めている方がいれば、役場にご一報いただきご相談に応じたいと思っております。

来年度につきましては、1月中には取り壊しをする物件が決定、対象となる空き家には3月末までに家具・家財の処分、新年度となる4月からは空き家の取り壊しにかかる予定です。

この事業と共に新年度から移住対策にも力を入れていかなければなりません。大勢の方に北相木村を見て体験して北相木村を大好きになつて移住していただきたいと考えております。空き家対策と移住対策が、任期が4年間の私の政策の柱です。村長になつたからにはこの村を変えていかなければいけないという使命があります。

再質問

空き家所有者の方より土地を譲り受けた後、土地の利用は3通り考えられると思います。①村営住宅の建設。②貸し農園などに利用する。③住宅用地として希望者に提供する。この③の場合は何年か以内に住宅を建てなければならぬのかという条件付きとなるのでしょうか。

村長

土地を取得したからにはせいぜい3年以内には造っていたいただきたいところで、宅地にしる、改修可能な空き家にしる、まずは村民の方で希望者がいましたら、その方を最優先に考えております。

再質問

最近見た長野県のある機関誌によると、北信地方の町では移住希望者が増えてきたが住宅の供給量不足のため近隣の町村へ移住されているようです。北相木村への移住希望者の方には常に住宅・土地が提供できる体制を整えて、北相木村ならではの美しい村づくり事

業として充実させていっていただきたいと思えます。

中沢 健一 議員



通学路の安全について 質問

千葉県八街市のトラックによる死傷事故を受けて、政府から通学路の安全を9月を目途に見直すように指示がありました。当村の通学路は県道が主で、その内6箇所が安全対策を取る必要があるとされていますが、場所はどこですか。対策・対応は管理者の県が行うものと承知しているが、村として児童の通学の安全を守るために、県にはどのような要望を上げていくのでしょうか。

教育長

当村においても県からの要請を受け、学校と教育委員会において、7月27日児

童の下校に合わせ確認を行いました。①久保の古宮地区、県道狭隘部分、②京の岩バス停から公民館方向へ歩道がない。③白岩バス停から村営住宅方向へ歩道がない。④大桑バス停から村営住宅方向に歩道がない。⑤坂上の診療所入口から山口方向に歩道がない。⑥山口の以前栄屋さんのあった場所の反対側から上流方向に向け歩道がない。以上の6箇所です。

現在県において対応を協議いただいていると承知しております。予算付けの問題もありますので、来年度には何らかの返答や方向を示していただくと考えています。グリーンベルトの整備、道路側溝に蓋をしてもらう、ドライバーへの注意喚起のために車道部と路側帯の間にポールを設置する等、実施可能かつ効果のある手立てを望みたいと考えております。

学校での交通安全啓発授業等も積極的に実施していきます。

再質問

一番危険だと思われるのは、久保の古宮の地区です。道路の形状が宮ノ平方面から下ってきて急に狭くなる、逆にこちらの方から行くと直線から急にまた狭くなる。非常に対向車同士の衝突が危惧される場所です。管理者が通学路として指定しているのですから、その安全を守るのは責務です。早急にガードレールなり何なりにして、車がそこで衝突しても児童の方に、通学途中に飛び込んできても安全に守れるようにする等対策が必要だと思います。

他の歩道がない箇所も、通学路指定しているのですから、看板設置、場合によっては道路のカラー化、要するに原則、安全運転を運転者に認識させる等、早急にできることを県の方へ強く要望した方が良いのではないのでしょうか。

教育長

長野県建設事務所の方に訴えていきたい。皆さまにも同席していただけるので、是非今のような訴えを直接していただければうれしいなと考えております。

再質問

私もそういう機会を積極的に有効利用していきたいです。南佐久選出の議員さんにもそのような話をして、とにかく皆さんとまって児童の安全ということを保っていただきたいと思



令和4年第1回臨時会

2月17日に開催されました。

下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号 北相木村過疎地域持続的発展計画の策定について

令和4年第1回定例会

3月4日に招集された議会は、3月15日までの12日間で開催開催されました。

下記議案を審議し、いずれも原案通り可決・採択されました。

議案第1号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号 特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号 パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号 北相木村特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号 令和4年度北相木村一般会計予算について
議案第8号 令和4年度北相木村国民健康保険特別会計予算について
議案第9号 令和4年度北相木村簡易水道事業特別会計予算について
議案第10号 令和4年度北相木村後期高齢者医療特別会計予算について
議案第11号 令和4年度北相木村診療所特別会計予算について
議案第12号 令和4年度北相木村介護保険事業特別会計予算について
議案第13号 令和4年度北相木村介護保険サービス事業特別会計予算について
議案第14号 令和3年度北相木村一般会計補正予算（第4号）について
議案第15号 令和3年度北相木村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
議案第16号 令和3年度北相木村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第17号 令和3年度北相木村村営バス事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第18号 令和3年度北相木村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
議案第19号 令和3年度北相木村診療所特別会計補正予算（第3号）について
議案第20号 令和3年度北相木村介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第21号 令和3年度北相木村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第4号）について
発議第1号 「中部横断自動車道（長坂～八千穂）の早期実現を求める」意見書について
発議第2号 ロシアのウクライナ侵攻を強く非難する決議について
各常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の所管事務の調査の件について

一般質問

令和四年三月十五日
議会定例会

菊池 敏廣 議員



村長就任1年、予算の方針について

質問

5月の就任以来、約1年が過ぎようとしています。本年度は村長の方針が反映される予算になると思いますが、どのような考えで組み立てをされたのかまず教えてください。1年目で質問するのは早いと感じるところもありますが、公約に基づいて進めていくと思えます。村政に携わって考えていたよりも大変と感じられたこと。多少変更、軌道修正していくように思われて

村長

いる点などありましたらお聞かせください。

小さくても輝き続ける村、

将来に渡って存続可能な村づくりの主眼を置いて、今北相木村において何が必要か、何をやらなければならぬのかを真剣に考え、4年度予算に反映していけるものを早期から模索してほしい。活力あふれる村を実現するために職員一人一人が自分たちの村をどうしたらいいのかといった観点に立って、予算を編成していただきたい。予算編成にあたって、まず村民として考えること、目的や成果を常に意識すること、恒常的な改善や改革を行うことの基本3本柱にまっただしで今やらなければならぬと思われることは多少の反対があっても積極的に取り組んでいく姿勢を見せていただきたいということが一番の基本となっております。

予算編成をして感じたこととは何といたっても財源がないことです。私の長い行政経験から特定税源の確保の

難しさを感じております。

私も村長に就任してやりたいこと、やらなければならぬことはたくさんあります。しかし財源不足でできないジレンマに陥っており、今はただ財源不足が残念であります。

再質問

財源不足が非常に厳しいとのこと。住宅ローンに例えると、頭金なしで借金だけで住宅を建てて、その返済の7割を国が肩代わりしてくれるというのが過疎債です。ハード分1億3,000万円の金額は大変かと思えますが、各種の補助金等活用してやっていっていただきたいと思えます。

次の質問です。地方自治体は今、どの町村でも地方交付税で一定の住民サービスを提供できるようになっています。北相木村も2035年までに3割前後の人口減少になると佐久広域計画でも予想しています。今後、行政のスリム化、効率化も村の運営に大切になってくると思います。村ではどのようなスリム化が必

要になると考えますか。答弁が難しいところかもしれませんが、村長の見通しと考えを教えてください。

村長

行政のスリム化、効率化は非常に大切なことだと思います。行政のスリム化についてはただ職員を減らせばよいのではなく、例えば4月に職員の人事異動を予定していますが、その中で空き家移住担当を新設したいと思っています。これは私の公約である空き家移住政策をさらに積極的に押し進めるため、よりスピーディーな対応をして、一日でも早く北相木村の存続、活性化を図ろうとするもので、スピード感を持って業務にあたる、これもスリム化の1つと考えております。

再質問

村も高齢者だけの世帯が増え、何らかの支援が必要の人が年々増加しています。共同での生活を希望する方が増えてくれば、生活支援ハウスの増設は考えておかなければいけません。現在12部屋の内、約半分の空き

があります。要介護2までの方が入居できるわけですが、条件等の見直しも緩和するなど、柔軟に対処する必要がありますか。どのように考えていますか。

村長

また、どの自治体でも人員の確保は頭を悩ませるところです。待遇等も長期の視点に立って、戦略を立てておかなければいけないと思います。近隣町村との待遇等の比較も大切ですが、先行して進めていってほしいと考えます。その点はどう進めていくつもりでしょうか。お尋ねします。

生活支援ハウスについては、現在、退院後や一時的な家庭の都合による短期、中期の生活の場としての利用が見受けられ、高齢者の皆さんにとっては北相木村で生活でき、安心できる施設で高齢者福祉に欠かせない施設であります。生活支援ハウスの入居条件の介護度2までについては、介護度が3になると自力歩行が困難になったり、紙おむつの使用という方が多くなり

ます。支援ハウスは介護施設ではなく、文字通り生活をして支援することにより、自立していける施設でありますので、介護度3になるのに伴い、退所していただいております。理由はマンパワーが足りないためです。南佐久郡下の特別養護老人ホーム、老健、病院等においてもマンパワー不足でそれに応じて特養の定員を下回る入所状況も散見しております。マンパワーが常に潤沢にあふれる状況でしたら前向きに検討すべき事柄かと思っております。

最後に職員の待遇に関しましては、非正規労働者が増え続けている中で、日本全体の給与水準が30年もの間変わっていないのに対し、物価は常に上昇しており、この30年間で人々の暮らしは大変苦しくなっております。しかしご指摘のとおり人員確保に常に頭を悩ませている現状から、待遇改善も1つの大きな柱としていく必要性も感じております。

再質問

長野県南佐久郡内で、北

相木村は他町村と比較しても人員確保の諸条件が大変かと思えます。マンパワー不足で村民に不便をかけることのないように待遇改善にも知恵を絞って進めていかれるようにお願いします。2、3年先よりも10年先を考える村政が必要と前に話されました。村民の声が反映されるように進めていってほしいと思います。

中沢 健一 議員



また村民の声が届く仕組みもつくっていく必要があると感じています。

バス停留所への屋根及びベンチの設置について

当村のバス停留所には屋根もなければベンチすらもない停留所がいくつもあり、過日も雪の降る中、傘を差してバスを待っている人が

総務企画課長

おられました。村で配るバスのダイヤ表には早めに停留所で待つように書かれています。寒風や酷暑また雪や雨の中、傘を差してバスを待つ大変さを考えた時、停留所に屋根やベンチは是非とも必要だと思えます。

再質問

現在、村内に18箇所の停留所があり、そのうち待合所のある所が10箇所あります。新たに待合所を設置する場合、用地確保と道路管理者、警察等の協議が必要であり、設置の難しい場所が多く残っている状況です。利用者の皆さんのことを考え、今後も未設置のバス停に待合所等の設置を検討していかなければならないと考えております。

特にバスを利用される方は高齢者や体がかなり弱い方等が利用されると想像されます。

それから高齢化になって免許返納ということ等も考えられますが、その方たちに屋根もないベンチもない所でバスを待つという状況

総務企画課長

を考えたときに、早急にこの事業をやってもらいたいと思えますが、いかがでしょうか。

峰尾 勝己 議員



設置してない所はやはり設置が必要だと思いますので、今後また検討していきたいと思えます。

灯油及びガソリンを含む給油補助について

再度灯油の給付補助券及びガソリンを含む燃料の給油補助券を配布していただけますか。

村長

村内で使えるプレミアム商品券を1万円、プレミアム分が3,000円付く13,000円の商品券を800セット用意いたしました。村民の皆様にはこのプレミアム商品券の活用によ

再質問

り、高騰分を補っていたらきたいと思えます。

プレミアム商品券は大変ありがたいのですが、使い勝手に1つ手間がかかります。やはり目的が確かであれば補助券配布が適しているのではないかと私は考えています。ここ北相木のスピード感を持って村民の一助となるように給付補助を考えますが、再度の検討のお考えはありますか。

村長

プレミアム商品券の売り行きによって非常に使用量が多ければまた考えますし、その時点でまたガソリン、原油が上がっております。先程も申しましたが、ガソリンを含む燃料券ということも考えていかなければならないと思っております。

再質問

私の考えでは今は平時ではなく非常時だと考えます。もうすぐ4月、春の暖かくやさしい風が吹くような政策をお願いいたしまして、私の質問を閉じさせていただきます。

カラマツの記事



「伐ったら植える」造林の機械化に挑戦



茂じ久保から切り出したカラマツ。千葉県へ出荷されました。



まっすぐに育ったカラマツの伐倒

北相木村商工会長の菊池幹男です。日頃は、村民の皆様、役場の皆様、議員の皆様には、村内の商工業者のためにご協力ご支援を頂きます。また、この度は、村発行の商品券・利用券を発行して頂きまして、大変感謝いたします。村民の皆様には、ぜひこの券を利用して村内事業者にて買い物して頂くようお願いいたします。当北相木村商工会も、全県レベルにおいて、事業者の加入率ではトップクラスの加入率を誇っていますが、

未加入の方もいます。商工会は、中小事業者のために法律で定められた組織です。各種共済、金融、事業支援、起業、事業承継等、経営に関するすべての相談に対応しています。職員は一人体制ですが、小海町商工会、南相木村商工会と、三商工会の広域連携によりすべての悩み事に対応します。また、商工会経由の借り入れは村からの補給制度を利用できます。まだ未加入の事業者の方は、ぜひ入会をお願いいたします。

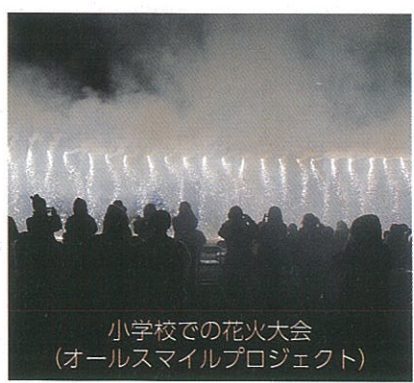
村民の声

Table with 4 rows of meeting dates: 令和3年開催された議会日程. 第1回 定例会 (3月4日~16日), 第1回 臨時会 (5月10日), 第2回 定例会 (6月10日~18日), 第3回 定例会 (9月7日~14日), 第4回 定例会 (12月6日~16日).

編集後記

都合がいい都合が悪いとても都合のよい言葉でよく使う。酒の席に誘われた時は、他の予定をキャンセルしてまでも都合をつけて参加する。反対に自分にとってイヤな事であれば、何も予定が入っていないでも都合が悪いと即答する。でも、かわいい女性に言われると断れないかもしれない。

考えてみると自分の事しか考えていない。誘ってくれる相手の事も考えられる人でありたい。都合はつけなければつかないと私は思う。 S・K



小学校での花火大会 (オールスマイルプロジェクト)